

## 『言葉と文化』創刊にあたって

名古屋大学大学院に国際言語文化研究科が創設されて既に2年が過ぎようとしています。この度、研究科の益々の発展を願って、日本語文化専攻から研究誌『言葉と文化』を発刊することになりました。『言葉と文化』は教官、院生が平等にその研究成果を発表することができるジャーナルです。

日本語文化専攻はその前身の文学研究科日本語文化専攻の院生を含めると、70名を超える院生の在籍する大所帯です。本専攻には日本のみならず、世界各地から様々な背景を持つ学生が集まり、自由な雰囲気の下に、切磋琢磨しつつ研究を行っています。院生室も教室も異文化接触の最前線であり、視野の広い、独創的な研究の生まれる土壌を持っていると思います。『言葉と文化』という成果発表の場を持つことにより、研究がますます活発になり、優れた成果が生まれることを期待しています。

この創刊号には16本の論文が掲載されています。御一読いただき、忌憚の無いご意見、ご批判を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

2000年1月18日

大曾 美恵子

『言葉と文化』創刊号編集担当：

大曾 美恵子

前野 みち子